

政策分析シート（令和3年度）

政策名		利便性の高い都市基盤の整備			政策No	12	部名	防災都市づくり部	
部長名		松土		内線		2800			
関連部名									
行政評価事業体系		分野	Ⅵ 安全安心都市						
目的	荒川区は、都心に近接した立地と交通の利便性に恵まれていることから、近年、来街者や人口の増加も続いている。さらに、住みたい、住み続けたい街の実現を目指して、道路等の都市施設の整備、駅前再開発の推進、防災街づくりの推進、公共交通網の整備等を進め、防災性が高く、良好な住環境の市街地に改善する。								
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文			
			30年度	元年度	2年度				
	①	生活環境の充実	3. 23	3. 23	—	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？			
	②	防災性	2. 23	2. 33	—	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？			
	③	交通利便性	3. 94	3. 95	—	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？			
	④	まちなみの良さ	2. 98	3. 02	—	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？			
	⑤								
	⑥								
⑦									
指標	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			30年度	元年度	2年度	3年度見込み			目標値(8年度)
	①	住環境条例の条例適合率（％）	100	100	100	100	100	適合件数／届出件数 ※計画時	
	②	都市計画道路の整備率（％）	58. 1	58. 1	58. 1	58. 1	69. 3	完成5, 160m／計画8, 886m(平成29年3月末延長)	
	③	コミュニティバスの乗車人員（人/日）	3, 610	3, 393	2, 087	2, 190	4, 600	一日あたり	
	④	市街地再開発事業の進捗率（全地区）（％）	76	76	76	82	100	各地区(日暮里、西日暮里、三河島、南千住、町屋)の平均	
	⑤								
	⑥								
⑦									

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				元年度	2年度	差額	勘定科目				元年度	2年度	差額
	行政費用	給与関係費	301,661	310,515	8,854	行政収入	地方税等	0	0	0				
		物件費	315,446	286,257	▲ 29,189		国庫支出金	0	0	0				
		維持補修費	1,018	264	▲ 754		都支出金	54,261	61,552	7,291				
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0				
		補助費等	20,017	17,955	▲ 2,062		使用料及び手数料	27,827	22,593	▲ 5,234				
		減価償却費	87,400	87,630	230		その他行政収入	8,327	5,152	▲ 3,175				
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	90,415	89,297	▲ 1,118				
		賞与・退職給与引当金繰入額	33,233	77,496	44,263		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 696,421	▲ 730,030	▲ 33,609				
		その他行政費用	28,061	39,210	11,149		金融収支差額(d)	▲ 326	▲ 209	117				
行政費用合計(b)	786,836	819,327	32,491	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 696,747	▲ 730,239	▲ 33,492							
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0							
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 696,747	▲ 730,239	▲ 33,492							
貸借対照表	勘定科目				元年度	2年度	差額	勘定科目				元年度	2年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0				
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	6,969	7,088	119				
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	16,318	16,425	107				
	固定資産	有形固定資産	6,095,771	6,609,456	513,685		その他の流動負債	5,390	0	▲ 5,390				
		土地	4,678,501	5,277,830	599,329		固定負債	165,351	201,460	36,109				
		建物	507,247	507,247	0		特別区債	7,088	0	▲ 7,088				
		建物減価償却累計額	▲ 324,198	▲ 337,910	▲ 13,712		退職給与引当金	158,263	201,460	43,197				
		工作物等	2,083,046	2,083,046	0		その他の固定負債	0	0	0				
		工作物等減価償却累計額	▲ 848,825	▲ 920,757	▲ 71,932		負債の部合計	194,028	224,973	30,945				
		無形固定資産	0	0	0		正味財産	5,969,362	6,475,752	506,390				
		建設仮勘定	45,919	71,555	25,636		正味財産の部合計	5,969,362	6,475,752	506,390				
		その他の固定資産	21,700	19,714	▲ 1,986		負債及び正味財産の部合計	6,163,390	6,700,725	537,335				
	資産の部合計	6,163,390	6,700,725	537,335										

財務諸表に関する特徴的事項等

○再開発事業やコミュニティバス運営、放置自転車対策等の事業を行っており、自転車駐車場管理の指定管理料を含む物件費が行政費用の約4割を占めている。

○貸借対象表における有形固定資産は、放置自転車撤去や自転車置場・駐車場管理運営に関するものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○都市計画道路については、平成19年度に補助306号線、平成22年度に補助107号線の整備が完了以降、整備率58.1%に変動はない状況である。 ○三河島駅前北地区については、周辺に密集市街地があり、また旧真土小学校を含めて低・未利用地が比較的多いなど、地域の防災性や駅前の賑わいが不足している。また、西日暮里駅前は、区内有数の交通結節点でありながら、駅前の快適性向上や賑わい創出に寄与する整備が行われていない。 ○区民の意向に基づいて進められる区民の手によるまちづくり活動に対して支援を行っている。
課題	○都市計画道路の整備にあたっては、土地所有者等関係権利者の理解を得るとともに、既存道路との接続による交通への影響等を考慮しながら進める必要がある。 ○三河島駅前北地区については、駅前にふさわしい魅力やにぎわいの場の創出や、大部分が木造住宅密集地域であることから、地域の防災性向上を図る必要がある。また、西日暮里駅前地区については、地区全体としての賑わいを創出するため、区民のみならず区外の人も利用しやすい文化交流施設や商業施設、防災拠点となるオープンスペース、駅前広場等の都市基盤の整備を行う必要がある。 ○区民の意向に基づく地区計画の都市計画決定を進める必要がある。
今後の方向性	○都市計画道路の整備にあたっては、関係権利者への丁寧な対応を行うとともに、交通管理者や鉄道事業者等と調整を図りながら、より安全で機能性の高い道路の整備を図り、都市の基盤づくりを着実に進めていく。 ○三河島駅前北地区及び西日暮里駅前地区については、市街地再開発事業による拠点整備を進め、多様な都市機能が集積した、駅前にふさわしい魅力とにぎわいのある市街地の形成を目指していく。 ○今年度内での地区計画の都市計画決定に向けてまちづくり協議会及び関係機関等との協議・調整を行う。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	3年度 設 定	4年度 設 定	
快適な市街地環境への誘導	推進	推進	区の都市計画マスタープランに基づき、秩序ある街づくりを進め、快適な市街地環境の整備を誘導していく。
都市計画道路の整備	重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備は、街の防災性向上や安全な交通空間確保等の観点から、優先順位を定めて計画的に推進していく。
交通環境の整備	推進	推進	交通機関の充実や交通不便地域における利便性の向上、及び快適な道路環境の整備を推進していく。
市街地再開発事業等の推進	重点的に推進	重点的に推進	各地区で策定したまちづくり構想に掲げる将来像を実現するため、再開発を重点的に推進する。